

前回の報告書から随分と時間がたってしまいました。インターンが終わり、Stanfordに戻ってまいりました。インターン生活がゆったりとしていた反動もあり、大学での生活が辛く感じます。。。この半年は特に新しいこともなかったなので、最近の出来事や北カリフォルニアについて、今回の報告書では書きたいと思います。



Stanfordのキャンパス

30歳

年齢も30歳になってしまいました。Ph.D.の取得は三十歳を過ぎてからでも良いと思い、今まで色々な選択をしてきましたが、実際三十歳になり、卒業まで遠いことを感じると、中々精神的に辛く感じる場合があります。回り道をしてしまった分まだ卒業まで遠いのですが、多くの同期たちが今年卒業する予定なのは正直辛いです。フランスに残っていた方が良かったのでは

ないかと感じることもありますが、残っていた場合はスタンフォードに行けばよかったと思うのでしょう。。。背水の陣も極まってきたなと思います。

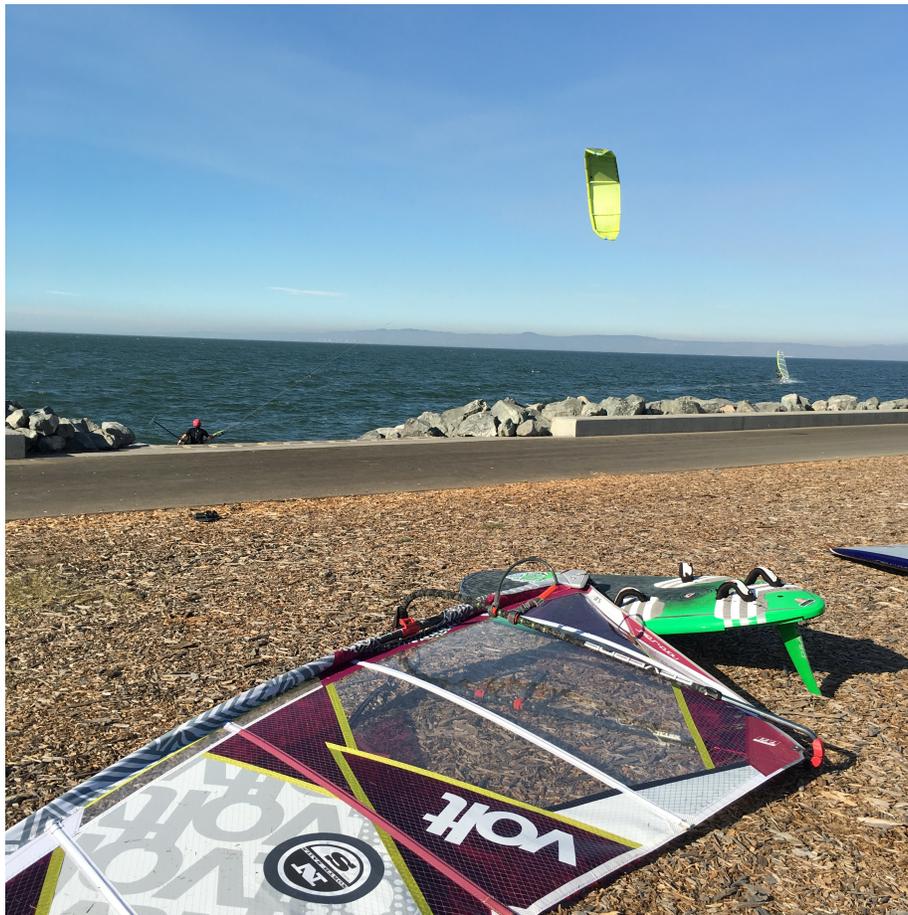
Quals

とうとうQualに通りました。留学を開始してから何年たっているんだという感じですが、ようやくQualを受けました。Stanford EEのQualは厳しいと昔は有名だったのですが、近年の改革により数年前よりも基準が緩くなったようです。数年前は半分ほど不合格になっていたようですが、近年では入学してくる人数を減らす一方でQualの合格率をあげているようです。佐藤くんあたりが詳しい報告をしていると思うので、僕が詳しい内容を書く必要はないと思うので詳しくは書きませんが、Stanford EEのQualでは10人の教授から個別に問題を出され、その場で12分以内に口頭で解くという形式です。落ち着いて時間をかけて調べながらであれば解ける問題なのですが、プレッシャー下で数学的な問題を解くという形式は非常に難しかったです。

北カリフォルニア

これまで海外の三都市に住んできましたが、ベイエリアのことは結構気に入っています。何よりも食事が圧倒的にボストンよりもおいしいと感じます。（パリとは質が違うので比べられませんが。。。）ボストンに住んでいた当時は、Yelpで点数が高いレストランに行ってみても、おいしいと感じたことはほとんどありませんでしたが、ベイエリアには各国の料理が揃っており、非常に良い食生活を送れていると感じます。最近のマイブームはペルー料理とネパール料理です。こういった料理を楽しむことがアメリカ食生活の醍醐味かなと思います。ボストンに住んでいた当時はおいしいものに飢えており、アメリカは本当に食事がおいしくない国なのだなと思っていましたが、アメリカの本当に小さな一部のことしか分かっていなかったのだなと感じています。

ウィンドサーフィン



MY BOARD & SAIL

中高生の当時から海沿いの街に住んでマリンスポーツをすることが夢でしたが、とうとうウィンドサーフィンをはじめました。ベイエリアは夏だと毎日風が吹いているので、最高の趣味です。今まで趣味をほぼ持たずに生活していましたが、趣味を持つというのは苦しい研究生生活の中で必要な息抜きだなと数年の研究生生活を経て感じています。

取り留めのない報告書になりましたが、今回はこれで終わりにしたいと思います。次回は、スタンフォードでやっている研究について書こうかなと思います。